



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社

コード番号 6737 URL <http://www.eizo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 有生 學 TEL 076-275-4121

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	38,330	△3.0	3,246	△27.4	4,015	1.2	2,964	△4.8
29年3月期第2四半期	39,532	13.7	4,471	157.2	3,969	64.7	3,112	78.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 5,630百万円 (226.4%) 29年3月期第2四半期 1,724百万円 (306.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	139.05	—
29年3月期第2四半期	146.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	118,768	90,057	75.8	4,223.96
29年3月期	115,160	85,280	74.1	3,999.89

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 90,057百万円 29年3月期 85,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
30年3月期	—	45.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	0.9	7,100	0.9	7,500	5.5	5,700	0.7	267.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	22,731,160株	29年3月期	22,731,160株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,410,536株	29年3月期	1,410,460株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	21,320,654株	29年3月期2Q	21,320,734株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は決算説明会開催予定の平成29年11月15日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では個人消費は底堅く推移し、企業は製造業を中心に改善が続ぎ、景気は緩やかに回復しました。また、米国では個人消費や設備投資は堅調に推移し、景気は引き続き拡大しました。日本では、堅調な雇用・所得情勢を背景に個人消費は回復しており、公共投資の増加もあり、景気は緩やかながらも回復基調が続きました。

当社グループは、映像技術を核として顧客のニーズに応じた最適な映像環境ソリューションを提供するなど、「Visual Technology Company」への展開を進めております。また、商品開発の強化、高品質・高品位な映像ソリューションの提供を行うことで、第五次中期経営計画で掲げている各市場別の重点施策を進めております。ヘルスケア市場では、手術室及び内視鏡用モニターの製品開発を進め、EIZOブランドでは初の手術室3Dモニターを8月にリリースしました。V&S市場では、画面に電子海図を表示し航路確認や航行監視に使用する46型フルHD解像度のタッチパネル液晶モニターを7月に販売を開始しました。

当第2四半期連結累計期間における全体の売上高は、38,330百万円（前年同期比3.0%減）となりました。アミューズメント市場向けの売上高が減少しましたが、B&P、ヘルスケア、クリエイティブワーク及びV&Sの各市場向けの販売が堅調に推移したことで、売上高は前年同期比で若干の減少にとどまりました。

市場別の売上は次のとおりです。

市場	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月 1日 至 平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月 1日 至 平成29年9月30日)		増減 金額 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
B&P (Business & Plus)	7,481	18.9	8,044	21.0	+563
ヘルスケア	11,846	30.0	13,672	35.7	+1,825
クリエイティブワーク	2,589	6.5	2,751	7.2	+162
V&S (Vertical & Specific)	3,250	8.2	3,638	9.5	+387
アミューズメント	12,756	32.3	7,288	19.0	△5,468
その他	1,607	4.1	2,935	7.7	+1,327
合計	39,532	100.0	38,330	100.0	△1,202

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

[B&P (Business & Plus)]

売上高は、8,044百万円（前年同期比7.5%増）となりました。フレームレスモニターの販売が欧州及び北米において引き続き堅調に推移しました。欧州では特にドイツ向けの販売が好調に推移し、前年同期を上回る売上高となりました。また国内においては、販売は堅調に推移しました。

[ヘルスケア]

売上高は、13,672百万円（前年同期比15.4%増）となりました。海外においては、2016年8月から買収により事業を開始した手術室及び内視鏡用モニターの販売が好調に推移し、これに加え、診断用途向けモニターの販売が欧州、北米で好調に推移しました。また国内においては、インテグレーション事業が好調に推移したことにより、前年同期を上回る売上高となりました。

[クリエイティブワーク]

売上高は、2,751百万円（前年同期比6.3%増）となりました。海外においては、欧州及び北米にて販売が堅調に推移しました。特に北米では映像制作分野への販売を強化した効果が出てきており、売上高増加に貢献しました。

[V&S (Vertical & Specific)]

売上高は、3,638百万円（前年同期比11.9%増）となりました。国内において、船舶向け及び監視向け市場の販売が堅調に推移し、これらに加え金融システム向けモニターの入替需要による販売が伸長し、前年同期を上回る売上高となりました。

[アミューズメント]

売上高は、7,288百万円（前年同期比42.9%減）となりました。前期にあった遊技機の入替需要の反動により、前年同期を下回る売上高となりました。

[その他]

売上高は、2,935百万円（前年同期比82.5%増）となりました。主に、アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が増加したことによります。

売上総利益は、B&Pやヘルスケア市場向け等での増収、円安効果及び原価低減による増益効果があったものの、アミューズメント市場向けの反動減により、前年同期に比べ852百万円減少しました。売上高総利益率は、利益率の低いアミューズメント用ソフトウェア受託開発売上高が増加したこと等により、前年同期比で1.2ポイント低下しました。販売費及び一般管理費は、内視鏡用モニターやMIL規格対応製品の先行開発投資を積極的に行ったこと等により、前年同期に比べ372百万円増加しました。その結果、営業利益は3,246百万円（前年同期比27.4%減）となりました。一方、為替差益の計上等により、経常利益は4,015百万円（同1.2%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は税負担の増加により2,964百万円（同4.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産及び負債の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は3,607百万円増加し118,768百万円、負債の部は1,168百万円減少し28,710百万円となりました。純資産の部は4,776百万円増加し90,057百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月8日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,294	6,430
受取手形及び売掛金	16,973	15,646
有価証券	18,809	18,116
商品及び製品	10,284	11,735
仕掛品	4,501	3,670
原材料及び貯蔵品	9,629	11,422
その他	2,981	2,908
貸倒引当金	△138	△119
流動資産合計	69,334	69,810
固定資産		
有形固定資産	11,771	12,152
無形固定資産	1,747	1,289
投資その他の資産		
投資有価証券	31,558	34,781
その他	748	733
投資その他の資産合計	32,306	35,515
固定資産合計	45,826	48,957
資産合計	115,160	118,768
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,694	6,446
短期借入金	1,796	1,992
未払法人税等	1,051	999
賞与引当金	1,397	1,171
ソフトウェア受注損失引当金	4	—
製品保証引当金	1,813	1,913
その他	5,506	4,659
流動負債合計	19,264	17,182
固定負債		
役員退職慰労引当金	101	101
リサイクル費用引当金	898	850
退職給付に係る負債	3,069	3,146
その他	6,545	7,429
固定負債合計	10,614	11,528
負債合計	29,879	28,710

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,313
利益剰余金	62,953	65,065
自己株式	△2,661	△2,662
株主資本合計	69,031	71,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,038	19,024
為替換算調整勘定	△504	119
退職給付に係る調整累計額	△284	△229
その他の包括利益累計額合計	16,248	18,914
純資産合計	85,280	90,057
負債純資産合計	115,160	118,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	39,532	38,330
売上原価	26,808	26,458
売上総利益	12,724	11,871
販売費及び一般管理費	8,252	8,624
営業利益	4,471	3,246
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	260	270
有価証券売却益	11	—
為替差益	—	399
その他	22	124
営業外収益合計	300	797
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	23	24
為替差損	744	—
その他	34	4
営業外費用合計	802	29
経常利益	3,969	4,015
税金等調整前四半期純利益	3,969	4,015
法人税、住民税及び事業税	673	1,057
法人税等調整額	182	△6
法人税等合計	856	1,050
四半期純利益	3,112	2,964
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,112	2,964

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月 1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月 1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	3,112	2,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△539	1,985
為替換算調整勘定	△948	623
退職給付に係る調整額	99	55
その他の包括利益合計	△1,387	2,665
四半期包括利益	1,724	5,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,724	5,630
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月 1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月 1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,969	4,015
減価償却費	1,002	1,117
のれん償却額	113	165
引当金の増減額 (△は減少)	△78	△273
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	92	109
支払利息	0	0
有価証券売却損益 (△は益)	△11	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,780	1,815
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△920	△1,398
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,533	△1,782
その他	309	△772
小計	6,230	2,996
利息及び配当金の受取額	266	273
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△650	△1,007
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,845	2,261
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,479	△1,809
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△28	△678
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	509	—
事業譲受による支出	△1,251	—
その他	104	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,145	△2,473
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△745	△853
財務活動によるキャッシュ・フロー	△745	△853
現金及び現金同等物に係る換算差額	△421	202
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,532	△863
現金及び現金同等物の期首残高	20,221	24,794
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,753	23,930

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

3. 補足情報

(売上区分の表示についての変更)

第1四半期連結累計期間より従来の品目別の売上から市場別の売上に区分を変更しており、以下の区分にて集計しております。

区分	主要用途
B&P (Business & Plus) ビジネス用途向け及びゲーム等のエンターテインメント市場向け	金融機関、公共機関、文教施設、一般オフィス、ハイエンド・ホームユース
ヘルスケア 医療環境向け	医用画像、診断用途、手術室用途
クリエイティブワーク グラフィック用途向け	出版・印刷・写真編集、映像制作
V&S (Vertical & Specific) 様々な環境下での使用が求められる多様な業種・分野向け	航空管制(Air Traffic Control:ATC)、船舶、監視(Security & Surveillance)、その他産業用途
アミューズメント	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他	保守サービス及びソフトウェアの受託開発